



ハラスメント相談センターだより

第30号 2022年1月発行

みなさんは今までに「LGBTQ+」という言葉を知っていますか？LGBTQ+とは、以下の言葉の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者（セクシュアルマイノリティ）を表す言葉の一つとして使われます（+はその他の様々なセクシュアリティがあることを示しています）。また、近年ではLGBTQ+に限らず、あらゆる人に一人ひとりの性があることを強調するため、Sexual Orientation Gender Identity の頭文字をとって「SOGI」という表現もあり、当事者に対するハラスメントをソジハラということもあります。（名古屋大学の「LGBT等に関する名古屋大学の基本理念と対応ガイドライン」では、「LGBT等」を使用しています https://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/upload_images/guideline03162021.pdf）

性的指向 (Sexual Orientation)

性的指向とは、どのような性別の人を好きになるか、ということです。例えば・・・

L Lesbian レズビアン
女性の同性愛者
(心の性が女性で恋愛対象も女性)

G Gay ゲイ
男性の同性愛者
(心の性が男性で恋愛対象も男性)

B Bisexual バイセクシュアル
両性愛者
(恋愛対象が女性にも男性にも向いている)

H Heterosexual ヘテロセクシュアル
異性愛者
(恋愛対象が異性に向いている)

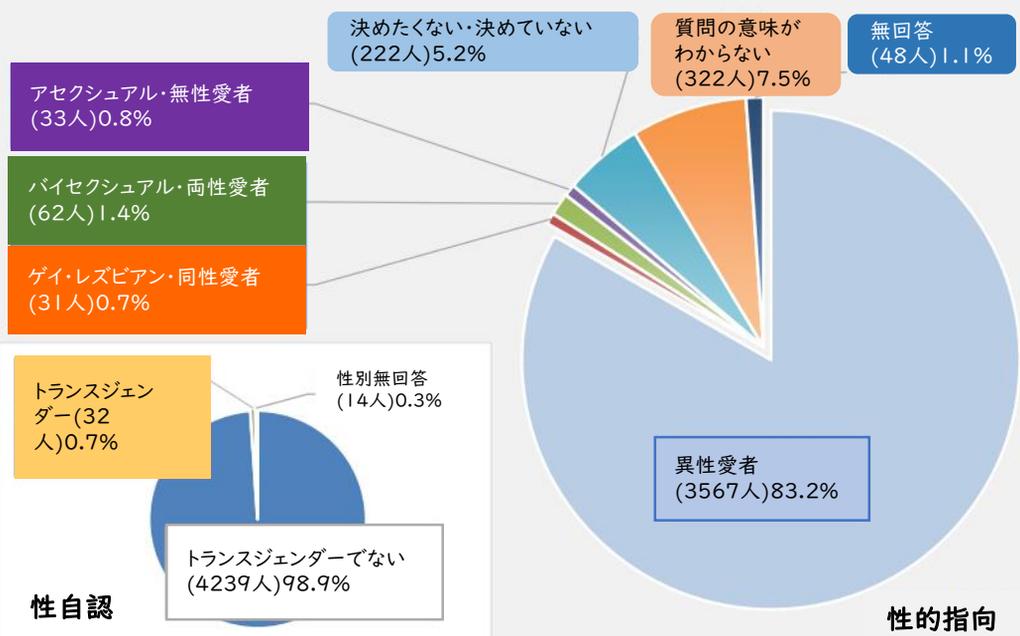
性自認 (Gender Identity)

性自認（性の自己認識）とは、自分の性をどのように認識しているのか、ということです。多くの方は、「体の性」と性自認が一致していますが、「体の性」と「心の性」が一致せず、自分の体に違和感を持つ方もいます。例えば・・・

T Transgender トランスジェンダー
「体の性」は男性でも「心の性」は女性というように、「体の性」と「心の性」が一致しないため、「体の性」に違和感を持つ人。

C Cisgender シスジェンダー
性自認と生まれたときに割り当てられた性別が一致している人。

Q Questioning
クwestioning
性的少数者には、LGBT以外にも、男女どちらにも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性を決められない、決められたくない、わからないなど、特定の枠に属さない人がいます。



カミングアウト …… LGBTQ+であることを告白すること

カミングアウトとは、社会の差別・偏見や周囲の無理解からセクシュアリティをはじめとする自分のプライベートなことを隠さざるを得ない状態を「クローゼットに押し込まれている状態」にたとえ、これまで公にしてこなかったことを表明することをいいます。カミングアウトは、それを告げることで相手との関係が壊れないか、といった不安も伴われながらなされることも多くあります。

カミングアウトするかどうかや、いつ、誰に、どのように伝えるかは、当事者本人が決めることで、カミングアウトを周りの人が強要するものではありません。

LGBTQ+に対する偏見や差別はセクハラやSOGIハラにも

学校や職場で、「ホモ」「おかま」「レズ」など、差別的な意味合いを含む言葉が使われていると、カミングアウトしたくてもできない雰囲気があるかもしれません。

「性別」は「男か女」、「好きになる性」は「異性」というのが「普通」で、これ以外は「普通ではない」という考え方が根強くあり、「普通ではないこと」は「間違っていること」「よくないこと」と思う風潮があります。周囲からいじめられたり、からかわれたりすることで自傷行為をしたり、うつ症状から自死につながることもあります。また、LGBTQ+に対する理解が進んでいないため、当事者が学校や職場でセクハラ、ソジハラを受けたり、進学や就職活動の中で困難を感じるなど、不利益な扱いを受けたりすることも少なくありません。

LGBTQ+を理解し、支援する人になろう!



アライ(ally)という言葉をご存知ですか?アライ(ally)とは「味方」を意味する単語で、そこから転じてLGBTQ+を理解、支援する人を指します。アライとして何か活動しなければならないというのではなく、大切な人が、自分のセクシュアリティに悩んでいたたり、打ち明けてくれた時、まずはそれを受け止めて話をきいてあげるだけでも、アライとしてのアクションになります。

性は多様です。個人の尊厳にかかわる大切な問題です。誰もが自分の性的指向・性自認を尊重され、自分らしく生きることのできる社会を、みんなで作っていきましょう。

LGBTだけでなく、一人ひとりに自分の性のあり方があります。多様なセクシュアリティを自分事としてとらえ直してみよう!

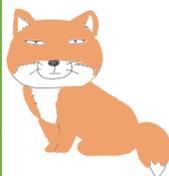


ハラスメント相談センター公式キャラクターの名前を募集中!
詳しくはハラスメント相談センターのfacebookをご覧ください!



アルパカ

いつも周囲に気を配り、優しく寄り添い続けるリーダー的存在。相談員と共に相談業務や研修活動を行いながら、ハラスメントで悩んでいる人たちに寄り添い続ける頼れる仲間



チベット
スナギツネ

図々しくてずる賢く、人の獲物を横取りするため、周囲から「ハラッサー」と言われていたが、ハラスメントの研修を受け、自分自身を振り返る。同じように悩んでいる人の役に立ちたいと思い、ピアサポーターになる



ハシビロ
コウ

周りでハラスメントが行われていても、自分に火の粉がかかるのが嫌で見て見ぬふりをしていたが、後に傍観者であった自分を反省。アルパカの勧めもありピアサポーターになる

MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



名古屋大学

名古屋大学ハラスメント相談センター

TEL:052-789-5806 〒464-8601 名古屋市中種区不老町
h-help@adm.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学ハラスメント相談センター

検索